

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	大都市地域整備戦略の策定経費		担当部局庁	都市局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H19/H23		担当課室	都市政策課		課長 東 潔		
会計区分	一般会計		施策名	10-37 総合的な国土形成を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	首都圏整備法第30条の2 近畿圏整備法第17条第3項 中部圏開発整備法第18条第3項		関係する計画、通知等	国土形成計画、首都圏整備計画 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	首都圏整備法等に基づき、関係行政機関、関係地方公共団体等の意見聴取等を行いつつ、大都市圏の整備計画に関する総合的な施策を企画・立案するため、人口動向や居住環境、土地利用状況等の社会経済的状況についての確に把握(モニタリング指標の整理・分析)するとともに、大都市圏特有の各種広域的課題に的確に対処するために必要な施策の基本的方向性の検討を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大都市圏は巨大な人口・機能の集積を抱え、交通渋滞、郊外部での土地・空間利用、環境や景観保全上の問題、災害に対する脆弱性といった行政区域を越えた広域的課題を有しており、計画の定期的なフォローアップ及び達成状況の公表、圏域整備の主体である地方公共団体との密接な意見交換、多様化する地域ニーズを踏まえた計画が必要である。 平成20年7月に策定された国土形成計画(全国計画)においても、大都市圏特有の課題に関し「既成市街地等への過度な集中防止という従来の政策課題に代わる、新たな課題への対応について制度面も含め検討していく必要がある」と指摘されている。これらの状況を踏まえ、大都市圏ゆえに求められる課題や緑地の整備及び保全、都市機能分散と展開といった課題に対処するための役割分担等について整理・検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	100	57	20			
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	100	57	20			
	執行額	97	55	19				
	執行率(%)	97.0%	96.5%	96.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(22年度)	
	大都市圏の水源環境に影響のある琵琶湖への流入負荷量(化学的酸素要求量)の低減		成果実績	kg/日	-	33,075	-	35,885
			達成度	%	-	108%	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	調査実施件数		活動実績(当初見込み)	件/年	5	3	1	
単位当たりコスト	19,000,000(実績額/調査実施件数)		算出根拠	19(百万円)÷1(件)=19(百万円/件)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
				H23廃止				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	琵琶湖の総合的な保全を検討するに当たっては、琵琶湖の所在地である滋賀県と広範な下流域である他府県との利害が対立する施策について国が関与し調整する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画競争による手続きを経た上で発注先を特定しており、競争性が確保されている。また、業務の実施にあたっては、受託先と適宜協議を行うことで、目的に即した必要な内容が実施されるよう指導している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	先進事例等の情報を加えつつ、指標の追加やモニタリングの実施可能性等を検討し、関係者によるWGにおいて議論を行っており、実効性は高い。また、成果物である報告書は下流府県等で構成されている協議会へ配布し、地域の施策活動に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・昨年の所見を踏まえ、大都市特有の広域的な課題を踏まえ、今後の大都市圏戦略の策定に不可欠な要素である環境の観点から特に琵琶湖の総合的な保全というテーマに絞り国が主導的に検討すべき具体的な対応策の検討に重点化した。</p> <p>・平成24年度からは国際展開を見据えた事業展開を実施するため、都市再生推進経費として統合化したことにより本事業については廃止。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	176	平成23年行政事業レビュー	151

※平成23年度実績を記入

国土交通省
20百万円

調査の企画・立案、
進捗管理・指導

都市局
20百万円

調査の企画・立案、
進捗管理・指導

【企画競争】

A.民間企業(1社)
19百万円

琵琶湖の総合的な保全のための
第2期計画を推進するため、各施
策の効果を測定する指標を導入
する検討を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(株)日水コン			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	琵琶湖の総合的な保全のための第2期計画を推進するため、各施策の効果を測定する指標を導入する検討を	19			
計		19	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	琵琶湖の総合的な保全のための第2期計画を推進するため、各施策の効果を測定する指標を導入する検討を実施。	19	随意契約(企画競争)	96.5%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					